

市内3つの蔵が統一ブランドで「北九州らしい地酒」をつくるプロジェクト

北九州の地酒統一ブランド【※093（コメゼロキュウサン）】について

～北九州の米と水を使った美味しい日本酒・粕とり焼酎・米粉ビールができました～

北九州三醸造士の会は八幡西区楠橋で育てられた酒米「夢一献」を共通原料とした日本酒・焼酎・地ビールの統一ブランド「※093（コメゼロキュウサン）」の販売を平成29年12月1日からスタートします。

販売数は各2,000本限定で、3本をセットにしたギフトボックスの他、単品での販売も行います。

プロジェクトがスタートした経緯 ～コメへのオモイ～

溝上酒造は1844年・無法松酒造は1877年からの歴史をもち、門司港地ビールも昨今のクラフトビールブームよりもいち早く1998年から営業をしています。しかし実際には市民認知度はまだまだ低いこともあり、「もっと市民の方々に北九州のお酒の魅力を知ってもらいたい」という目標のために統一ブランド開発を2016年にスタート。2017年10月に八幡西区楠橋で育てられた酒米「夢一献（ゆめいっこん）」の収穫を待って溝上酒造が日本酒を醸し、そこで出来た酒粕を無法松酒造が粕とり焼酎にし、吟醸酒をつくる際に米を削る工程で出る米粉を使った地ビールをつくり、どれも出来たての美味しさをそのまま瓶に詰めました。



プロジェクトの特徴・ニュース性

国内でも1つの会社が日本酒・焼酎・ビールをつくることはあっても、経営の異なる3つの蔵が統一原料で3種類のお酒をつくるという事例は大変珍しいものです。また、本来であれば廃棄されてしまう酒粕や米粉を再利用し、美味しく商品化することはエコの街北九州らしい取組でもあります。

北九州三醸造士の会について

北九州三醸造士の会は北九州市が市制50周年を迎えた2013年に結成。北九州市内には現在酒づくりを行う蔵は溝上酒造（八幡東区、創業1844年）、無法松酒造（小倉南区、創業1877年）、門司港地ビール工房（門司区、創業1988年）の3社しか残っておらず、各社の杜氏3名が協力体制をつくることで地元酒文化の継承と発展、お酒で繋がるネットワークの構築に力を注いでいます。これまでも地酒と料理を楽しむイベントや、地元百貨店でのセット商品の販売を行い、2015年からはブランディングにも注力しホームページやFacebookページの立ちあげや10月には自主開催企画「さけまつり」の開催などを行ってきました。

ネーミングについて

商品名の「※093 (コメゼロキュウサン)」は3社が北九州の米という統一原料を使っていることと、市外局番が093であることにちなんで付けられました。ラベルデザインにも懐かしい黒電話を模した形で、商品名が隠れています。

ラベルデザインについて

ラベルデザインは溝上酒造(八幡)・無法松酒造(小倉)・門司港地ビール工房(門司)のそれぞれの地域の印象的な建物をモチーフとすることで、市民の方に「北九州には地元の美味しいお酒がある」ことを認識してもらえるよう意図しています。特に若い世代の方に手に取ってもらいたい、と地元のグラフィックデザイナーに依頼し、雑貨のようなヨーロッパ風のタッチの絵柄を採用しました。

販売について

それぞれ3本をセットにしたギフトボックスの他、日本酒・焼酎・ビールそれぞれを市内酒販店、お土産売場等でも販売予定です。

《価格》

- ・ギフトセット 2,400円・税込(3本・箱入)
- ・単品 日本酒 700円・税別、焼酎 600円・税別、ビール 500円・税別

《販売店》

市内井筒屋各店 ※お歳暮ギフトもカタログ掲載中

門司区：シマダ酒店 小倉北区：赤壁酒舗、力丸酒店 若松区：石田酒店、野村商店、
銘酒館倉松、みつばや酒店

八幡東区：デイリーヤマザキ春の町店、鳥越商店、日野商店、ひらしま酒店

八幡西区：カーニバル本城店、倉成酒店、ヒロマツ商店、藤原酒店

戸畑区：ロゼオイケ、マस्या酒店 行橋市：ビックバン行橋

この企画についてのお問合せは

北九州三醸造士の会 事務局

〒806-0022 八幡西区藤田1丁目1番6-2F(株式会社 庵グループ内)

担当：山本美音 電話：090-9482-4606

メール：jimukyoku@3jyouzoushi.com

ホームページ：<http://www.3jyouzoushi.com>